

第21回全外教セミナー・広島集会

- 外国にルーツをもつ子どもたちの居場所づくりとこれからの課題 -

ご 案 内

私たち全国在日外国人教育研究協議会（略称、全外教）は外国籍や外国にルーツをもつ子どもたちの教育課題を明らかにし、そうした子どもたちと日本人の子どもたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめてきました。その一環として1996年に第1回全外教セミナーを神奈川の地で開催し、以来、今回のセミナーで第21回を迎えます。今回は「外国にルーツをもつ子どもたちの居場所づくりとこれからの課題」をテーマに広島の地で開催します。

広島では2000年以来、地元の全朝教広島と教職員組合や市民団体を中心にした実行委員会が、「広島の『在日』を考える」をテーマに毎年集会を開催し、在日韓国・朝鮮人被爆者の証言を聴き、その体験を継承していくとともに、広島に在住する在日外国人と日本人市民とが互いを尊重し、ともに生きていける地域社会づくりを模索してきました。具体的には10代から20代の若者たちの生い立ちや学校・地域での経験から学校や地域社会の問題を明らかにしてきました。

一方、広島には、在日コリアンの子どもたちにかかわっては、長い年月にわたる教育実践の積み重ねがあります。高校では全県にわたる在日コリアン生徒の実態調査を継続的におこない、広島県在日朝鮮人生徒交流会も開催されてきました。しかし、1990年代末に始まった文部省の「是正指導」により、実践の継続や継承が困難な状況になっています。そうした中でも在日コリアンの子どもたちに向きあおうとする教職員は、それぞれの学校で粘り強くとりくみを継続しています。また、「新渡日」の子どもたちについては、近年さまざまな困難な状況が明らかになってきましたが、学校や教育行政の対応は十分ではなく、教育的課題は山積しています。

そこで、今回の全外教セミナーは「広島の『在日』を考える」集会と合同の形をとり、地域での活動や若い世代、特に全外教が主催する全国在日外国人生徒交流会の実行委員をつとめる高校生からの問題提起を受け、在日コリアンをはじめ、外国にルーツをもつ子どもたちが抱えている問題や教育課題について考えていきたいと思ひます。

夏には第30回全国在日外国人教育研究集会・広島大会を広島市内で開催します。このセミナーはそのプレイベントでもあります。夏の広島大会につながるような内容を企画しましたので、ぜひご参加ください。夏に訪れる広島も意義深いと思ひますが、新緑の穏やかな一日を広島でお過ごしください。



主催 全国在日外国人教育研究協議会・広島の「在日」を考える集会実行委員会
後援 広島市・広島市教育委員会
日時 2009年5月9日(土)13時30分～16時30分
場所 広島市留学生会館(広島市西荒神町1-1)
テーマ 外国にルーツをもつ子どもたちの居場所づくりとこれからの課題
内容 アトラクション 民族楽器の演奏
呉市ワールドキッズネットワークからの報告
パネルディスカッション

パネリスト 岩本炯来(全国在日外国人生徒交流会実行委員長、在日コリアン)
木脇エリカ(全国在日外国人生徒交流会実行委員、在日ペルー人)
池田千恵美(HOPEプロジェクト、日本人)
在日コリアン大学生
在日ブラジル人高校生

コーディネーター 笹川俊春(全朝教広島)

参加資料代 1000円
その他 セミナー終了後、全国交流会を予定しています。
参加費は3000円です。

連絡先 広島大会地元実行委員会・山本(080-6309-2769)



JR利用
「JR広島駅」から東へ
300m

電車利用
「猿猴橋町」から東へ
200m

バス利用
「荒神町」から西へ
150m